

FEYNLAB THE ORIGINAL CERMC

製品概要：

FEYNLAB THE ORIGINAL CERAMIC は FEYNLAB 科学者のチーフの遺産から生まれた製品です。彼は 10 年以上前に最初のセラミックコーティングを開発しました。そのコーティングは継続的に改善され、ここに独占的に FEYNLAB THE ORIGINAL CERAMIC として市場で入手できるようになりました。

FEYNLAB THE ORIGINAL CERAMIC は他の FEYNLAB コーティング剤と比べて固形物含有量が少ないですが、飛び切りの価値と耐久性をもった本当のセラミックコーティングです。

製品特性：

FEYNLAB THE ORIGINAL CERAMIC は FEYNLAB 商品群の中で最も経済的で施工しやすいコーティングです。すなわち、施工者は性能面では他のコーティングブランド品と同等又はそれ以上を発揮しつつ、競争力のある価格にてお客様にサービスを提供できます。

FEYNLAB THE ORIGINAL CERAMIC はコーティング施工された車両に対して超滑らかな肌触りと、耐久性、光沢と疎水性の優れたコンビネーションを提供します。

FEYNLAB の本当のナノテクノロジーとボンディングケミストリー（化学結合）により、市場にある如何なる他の商品よりもフォーミュラが既存の塗装面に浸透し、比類ないレベルのプロテクションを可能にしました。

持続性、保証、スペック：

全てのクリアコート塗装面に対して 1 年保証。FEYNLAB THE ORIGINAL CERAMIC の 1 層塗りにおける用途は、完全塗装汚染物除去と対策です。

施工可能表面--施工不可能表面には絶対に施工しないで下さい。

- ・ クリアコーティングされた塗装面（認証されている自動車メーカーとモデルに対する保証期間と条件を参照）
- ・ ブラックテクスチャード加工プラスチック
- ・ クローム
- ・ ヘッドライト & テールライト
- ・ ピアノブラックトリム
- ・ クリアコートされたホイール & キャリパー

製品内容：

FEYNLAB THE ORIGINAL CERAMIC – 40ml （中型車 1 台分）

注意：

施工時には常に防毒マスクとグラブを装着してください。施工場所は遊離性汚染が無い場所であることを確認してください

塗装面の準備：

FEYNLAB WASH または FEYNLAB RINSELESS WASH を使って車両を綺麗に洗車します。FEYNLAB PRIME を使って部分的な汚染クレイ除去を行います。通常のクレイ除去では取り除けない深く埋もれている鉄粉等は鉄粉除去製品を使ってください。

次に FEYNLAB の Compound と Polish 製品を使ってお客様の要求に最も高いレベルで応えるように車両表面を磨きこみます。磨き終了後、コーティングの最大限の結合と持続性を確実にするために FEYNLAB PANEL PREP を使い研磨剤に含まれ油脂分を除去します

順序：

施工前に明るく、摂氏 10°C～30°C（華氏 50 度～85 度）に温度管理され、汚染物が無い環境に車両を置いてください。十分な（4 個以上）マイクロファイバータオル、1 個のマイクロファイバースポンジアプリアクター又はスエードアプリアクターと十分な照明を準備してください。

塗布前の準備が完了したら、施工不可能な表面を取り外すか保護することをお勧めします。この作業をすることにより、窓やドア周りのウェザーストリップ表面における FEYNLAB THE ORIGINAL CERAMIC に含まれる溶剤によるエッチングリスクを最小限にすることが出来ます。これらの表面に FEYNLAB THE ORIGINAL CERAMIC が付着することを避けてください。もし付着した場合は即座に拭き取ってください。

THE ORIGINAL CERAMIC を 2 分間ほどよく振ってください。キャップを開けて 1 分ほど空気に触れさせてください。

コーティング塗布：

ドア 1 枚やボンネット半分等のパネル一枚分に塗布できるようにマイクロファイバアプリアクターに十分な THE ORIGINAL CERAMIC を塗ってください。コーティング面の真ん中に『十字』に塗布してそれから淵を塗布していきます。これにより製品がまんべん

く浸透していきます。それから左から右へ水平方向に塗布し、次に上から下に垂直方向に塗布して1層が均等になるようにします。

1 パネルに対する塗布が終わったら、一步下がって液垂れ、塗り過ぎ、液こぼれが無いかを確認します。もしそれらが見つかったら、アプリケーションスポンジで均等になるよう伸ばしてください。こうすることによってパネルを均等に乾かすことができ、製品の使い過ぎを防げます。

THE ORIGINAL CERAMIC が約75%乾燥するまで待ちます。温度と湿度によりこの待ち時間は15分~20分くらい掛かります。グラブをはめた指で施工面を軽くなぞり、未施工の隣のパネルとへの湿り気の湯きの移行具合を確認することが出来ます。コーティングが簡単に未施工面に移行しなければ、次のステップに進むことが出来ます。

又、水表面によく見られるオイルシーン（油による虹）と同様の『虹』が表面にまんべんなく発生しだしたら、次の工程に進めるサインです。

1 枚のパネル上でコーティングが75%乾燥するまでの最適時間が分かれば、次のレベリング（平準化）とバフイング（磨き）工程に入る前に一回の作業で車両の何枚のパネルを施工できるかを計算できます。コーティングが乾きすぎてレベリング（平準化）とバフイング（磨き）作業がやり難くなる可能性があるため、一回にあまり多くのパネル施工をし過ぎないように気を付けてください。

サーフィスクリアのレベリング（平準化）とバフイング（磨き）：

一旦75%乾燥したら、綺麗なマイクロファイバータオルで製品のレベリング（平準化）をして、残り25%の蒸発しなかった分散媒（carrier fluid）を除去してください。このプロセスを最初に塗ったパネルから順番にお行ってください。

拭取り手順：タオルに対して両手を広げておきます。そして腕を伸ばして塗布面と接触するのに十分な力を入れ、自分の方向にタオルを引き寄せる感じで拭き取ります。この方法でタオルが一方向に動くことが確約できます。拭き取り面が重なる面積を10~15%あるようにしてください。この方法で除去効果が最大化されます。施工面が80~90%の透明度になるまでこの拭き取り作業を続けてください。

その後、新しい綺麗なマイクロファイバータオルで、表面が透明で光沢が出るまで、またマイクロファイバータオルが施工面をスムーズにスライドするまで残留物を磨いてください。

備考：もし THE ORIGINAL CERAMIC が未塗装のプラスチック上に使用する場合、どのくらい均等に施工出来たかによって、レベリング（平準化）とバフイング（磨き）は不要です。もし、残留物や均等になっていない箇所を見付けた場合は、綺麗にバフイング（磨き）してください。

検査：

車両全体に移行する前に、施工済み面を注意深く検査してください。エッジ部分、エンブレム、その他のタイトな部分にコーティング剤が残っていないかを確認します。20～30分以内にそれらを見付けることが出来れば、除去は非常に簡単です。

繰り返す：

車両全体がコーティングされるまで、パネル毎（環境が許すならば複数パネルを）にコーティングとレベリング（平準化）とバフイング（磨き）工程を繰り返します。使用前に各ボトルを軽く振り、使用しない時はキャップを閉めるようにして下さい。必要であれば新しいタオルを使い、アプリケーションの片面が硬化し始めたり、表面にゴミを含みだしたら綺麗な面を利用してください。

重ね塗り：

クリアコートされた塗装面に対しての1年保証は、THE ORIGINAL CERAMIC においては1層塗りで十分ですが、（バンパーやボンネット等）更なるプロテクションを希望する箇所への重ね塗りも可能です。1層目を仕上げた後1時間～3時間乾燥させて、もう一層塗布することが可能です。

施工後の取扱い：

24時間は水への露出は避けてください。

7日間は洗車を含むケミカル（化学品）は避けてください。

FEYNLAB WASH か FEYNLAB RINSELESS と FEYNLAB DETAILER を使って洗車及びメンテナンスしてください。